

導入成功事例 レポート

No.20

ネットワーク型デジタコ DTS-D1D

なの花交通バス 株式会社 様



リアルタイムに乗務員、乗客、車両を把握。 動態把握とドラレコ映像で実現。



シフトレバー横に装着された
ドラレコ搭載ネットワーク型デジタコ DTS-D1D

貸切バスで各種観光ツアーや冠婚葬祭、部活動遠征の送迎などを行っている、なの花交通バス様。大型車から中型車、マイクロバス、さらに車いす利用の方や高齢者にもやさしいリフト付きバスまで、54台の車両を保有されています。2015年11月からは、京成線佐倉駅～北総線・印旛日本医大駅～JR小林駅間の路線バスも運行しています。

導入の きっかけ

2013年、50台の車両すべてをアナログ式デジタコからドラレコ搭載ネットワーク型デジタコDTS-C1Dに切り換えられた、なの花交通バス様。2015年10月に増車した5台にはドラレコ機能が充実したDTS-D1Dを導入されました。導入の目的を運行管理部長の浦川様にお聞きました。「当社では以前から安全運転、経済運転は徹底できていました。でも、安全運転を証明する方法がない、不測の事態への備えを充実したい、そんな考えから導入したのがドラレコ搭載ネットワーク型デジタコでした。さらにDTS-D1Dはドラレコ動画を鮮明な画質で無制限に取得できるため、ドライバーへの指示や万一の事態への対応も迅速にできる。十分満足しています」。



運行管理部長 浦川 真一 様

USER PROFILE

なの花交通バス 株式会社

設立：1999年1月
本社所在地：千葉県佐倉市城内町247-1
TEL：043-483-3320
代表者：代表取締役 富田 篤史
資本金：3,300万円
売上高：14億2,000万円
従業員：88名
拠点数：2カ所

課題

- 運行状況の確認・把握が難しい
- 車両トラブルへの対応に時間がかかる
- クレーム内容の確認が遅れがち

効果

- リアルタイムに運行状況を把握
- 動態把握でスピーディな対応が可能
- ドラレコ映像や運行履歴ですぐ確認



お客様とドライバーの安全・安心のために。

人の命を運ぶ観光バス、路線バス。なの花交通バス様では、ドライバーに安全運転を徹底させるだけでなく、ドライバー自身も安心して運行できるようにドラレコ搭載ネットワーク型デジタルコを採用されました。リアルタイムに位置情報を把握できるほか、複数台のカメラで捉えた映像も必要な時にすぐに確認可能です。スタッフの皆さまが運行をつねに見守っています。

乗務員を守る クレーム対応、休憩指示が迅速に。

スマートフォンで乗用車用ルートを見た乗客から「近道があるのに遠回りしている」と連絡が入るなど、クレームには勘違いによるものが数多くあります。「そんな時でも、今どこを走行しているか、運行軌跡は適切に簡単にチェックできるので安心。大型車用のルートを予定通り走行していることを確認し、誤解をすぐに解くことができます」と浦川部長様。「動態画面に長時間運転のアラームが上がったドライバーには休憩指示のメッセージを送信するなど、お客様だけでなく乗務員を守る運行管理ができます」。

顧客からの信頼 車両トラブル、天候変化に余裕で対応。

日々の点検や定期的な整備を行っていても、予期せぬトラブルが発生することもあります。そんな場合でも現在地や運行計画を確認し、代わりの車両と一つ、どこで合流させるかを決定。ドライバーに指示すると同時に、ツアー主催の旅行代理店に状況を報告するなど、先手先手で対応しています。また、5分毎に運行中車両の静止画(スナップショット)を自動で取得してくれるので、積雪の際は、動画を取得して詳細な現場状況を確認し、スタッドレスタイヤや装着車への変更を決定。「車両入替のために少しの時間お待ちいただくことになりましたが、お客様からの不満の声はありませんでした。やはり安全が最優先で正しいのです」。

ドラレコ映像の活用 研修、新人教育に活用。万への備えも。

ヒヤリハットの映像はクラウドに保存しておいて、一泊二日の研修や新人教育に活用されています。また、新人教育には日報による違反運転の指導、ドラレコ映像を使った運転姿勢のチェックなども実施。「業界課題である人材不足は簡単に解消されません。これからはドライバーの確実な育成がさらに必要となって来ます。映像を生きた教材として活用していきたいですね。また、万一事故に遭っても、ドラレコ映像が証拠となって原因究明できるので安心です」。こんな安全への取り組みが注目され、同業他社の方が視察に訪れています。

今後の展開 残リースがあっても全車両をD1Dに

最大5台のカメラ同時撮影に対応、撮影映像を運行中でも確認可能など、ドラレコ機能が充実したDTS-D1Dを全車に。2013年に導入したDTS-C1Dの切り換えを予定されています。さらに、AEDの装備や体温・血圧計と連動したアルコールチェッカの活用なども計画中。「安全はすべてに優先する、その姿勢に変わりありません」。



車両の現在地から運行軌跡、車内の乗員・乗客のようす、さらには天候や路面状況まで確認されている浦川部長様



前方の映像を捉える
92万画素デジタルカメラ



左折・乗降時の映像撮影用
左サイドミラー部のカメラ



夜間でもドライバーを写す
赤外線カメラ



乗客のようすも確認可能
ドームカメラ

事務所内の各所に安全標語を掲出



予期せぬ車両トラブルでも
応急措置対応が可能なように
サポートカーを導入



安全・正確な運行を
つねに見守る
スタッフの皆さん

●お問い合わせ先

■製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報サービス営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NMF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5023

http://www.transtron.com/